



社会医療法人 葦の会 オリブ山病院


オリブ山たより

O R I B U Y A M A T A Y O R I



渡名喜島

- 2 おじゃまします／石嶺町北翔会
- 4 島しょ診療レポート／渡名喜島編
- 5 り・はびりす
／葦の会のリハビリテーションについて
- 6 シャロン／内科のご案内

- 6 地域WORLD
／オリブ園通所リハビリの取り組み
- 7 愛だより／愛し、受け入れること
- 7 Caféわきみず通信 
／レアチャーサーで今夏もすっきり爽快



オリブ山病院HP



● お得なクーポンあり



北翔会の旗頭

〈語り手〉

石嶺町北翔会 会長 玉城俊光氏

※インタビュー内容は一部編集しております。

『青少年に夢を！石嶺に旗頭を！』をスローガンにし、旗頭を制作した翌年の1993年に設立された北翔会は、石嶺町の伝統文化を創ってきた石嶺地域の文化継承と地域活性化を主目的に活動する「文化ボランティア団体」です。

今回は、その団体の会長を務める玉城俊光氏に、石嶺町でのこれまでの活動の経緯や、現在の活動、これからの展望などを伺いました。

(※取材当時は2023年12月9日)



玉城俊光会長

Q 玉城俊光さんが会長を務める北翔会は、モノレール石嶺駅開業記念の際に、『いしんみ村あしび』実行委員会を立ち上げての活動が印象深い団体なのですが、もともとの設立の経緯をお聞かせください。

玉城俊光会長…復帰前後の石嶺町は、まだそれぞれの小さな通り会や自治会が、隣り近所の環境美化などの身の回りの事をする活動が主で、石嶺町全体の自治活動というものはありませんでした。また、当時は石嶺町を象徴するような伝統文化が無い時代でした。青少年の健全育成のために「石嶺町に旗頭を作ろう」という声があがっていき、石嶺町の各自治会の協力で、石嶺町で活躍している方々、伝統工芸師や旗頭を経験している石嶺在住の若い方々など、人伝えに呼びかけ、同志の輪があがって出来上がったのが、旗頭制作

おります。

めに公民館を活用して「石嶺文化祭り」や「石嶺文化芸能祭り」など、初代会長の故中松竹次郎氏が実行委員会をその都度立ち上げて、石嶺町に伝統文化行事を根付かせていきました。

Q 現在、年間での主な活動内容をお聞かせください。

2月に行われる「石嶺公民館祭り」では、旗頭保存会や伝統工芸サー会などと協力して出店しております。また、地域清掃活動にも力を入れて

そして、6月の慰霊の日には、伊江家の敷地内で行われる「第27戦車連隊慰霊祭」と、その準備として草刈り作業もボランティア団体と共に参加しています。これは元々、戦車第27連隊の生存者の方々が毎年行っていた行事でしたが、金城眞徳氏(現…北翔会顧問)が、3〜4名の高齢の方々が草刈りをしているのを見かねて声掛けをし、当時の北翔会の会長(故永山潔氏)と共に始めたのが活動のきつ



北翔会総会の様子



石嶺町旗頭完成祝賀会の様子

実行委員会です。1992年2月に安全祈願祭を行い、完成した同年10月に、旗頭披露式典を行いました。

制作実行委員会は、旗頭を作る目的を達成した後、制作に関わった120人の実行委員が、「このまま解散するのはもったいない！」「これからの石嶺地域の活性化、青少年の健全育成と明るいまちづくりをしよう」という想いから、石嶺町北翔会が誕生しました。設立は、1993年で、

かけです。その後、伊江家から近い城北中学校では総合学習の時間を使って平和学習や歴史学習として慰霊祭に参加しています。現在も、参加者や団体は違っても継続して続けております。「青少年の健全育成」という活動目的も、こういった活動を通して働きかけてきました。

また、年間行事としてグラウンドゴルフ大会や、カラオケ大会には石嶺町民、町内の企業、団体、学校、公民館などが参加します。11月3日には琉球王朝祭りの行列に参加することも北翔会の大きな活動のひとつです。

Q 今後の活動展望をお聞かせください。

石嶺町は大きな地域です。数多くの自治会がありますが、それに加わっていない石嶺地域に所在する企業や各団体との交流が不可欠です。北翔会はそのつなぎ役としての役割も担っており、これらの交流の活性化により、活力のある地域になっていく、そういったことが今後の展望になるかと思えます。地域のみならず、交流のなかで「こういうことはできないだろうか」という提案が、やがて実行委員会を作り、形あるものになっていく。その一例が、しまくうとうば大会です。今年の6月に城東小学校から、島ことば(しま



芸能まつりでの演技

今年で30年になります(※2023年12月9日取材時)。

Q 北翔会の名称由来はなんでしょうか。

北翔会の「北翔」は、「首里の北」に位置する石嶺町が、「羽ばたいていく」ことを意味しています。旗頭の大旗に掲げた「北翔」の想いから、会の名前になりました。

北翔会を設立した5年後、石嶺公民館ができました。地域活性化のた

くうとうば)をクラブ活動で教えてほしいと要請を受けました。城東小学校では総合学習の一環で、首里文化祭の、しまくうとうば大会に児童生徒らをエントリースさせたと考えていたのですが、「どこに問い合わせたらいいかわからない」「誰に指導をお願いしたらいいかわからない」と担当の先生から顧問の眞徳氏を通して話がアがってきました。そこで4回にわけて眞徳氏と二人で子どもたちと方言の勉強をしました。北翔会の定例会で地域情報として役員の皆様に報告しています。

むすび

那覇市には小学校区域ごとで「自助」「互助」活動を行う「校区まちづくり協議会」がありますが、北翔会はその30年以上前から、まちづくり協議会のような活動がなされていることが画期的であったと思います。

またオリブ山病院の診療についても広報的な活動等の助言も頂きました。今後の活動の「活躍も含め、取材を快く引き受けていただいた事を、この場を借りて会長ならびに北翔会の皆様へ感謝申し上げます。

インタビュアー…人事事業課 眞喜屋 編集…金城 眞徳氏

り・はびりす

社会医療法人葦の会の リハビリテーションについて



リハビリテーション部 部長 作業療法士 大濱 学

社会医療法人葦の会は、大きく分けて病院局・老健局・在宅支援局と三つの局に分かれています。病院局は、オリブ山病院を中心とした精神科や身体系の医療を主に提供しています。老健局は介護老人保健施設オリブ園を中心に介護事業を行っています。在宅支援局はシャロンクリニックにおける医療の提供と児童デイや生活介護などの障がい福祉の事業を行っています。それぞれの局にリハビリテーション専門職を配置し、患者さんや利用者さんへリハビリテーション(以下リハ)を提供しています。

私たちリハ専門職の働きとして、病院局では、回復期リハ病棟や地域包括ケア病棟などの身体機能や日常生活能力の改善を中心とした身体系のリハ提供と、精神科急性期病棟や精神科社会復帰病棟など、症状の安定や対人関係・生活機能の改善を目的とした精神科系のリハを提供しています。また、精神科デイケアやB型就労支援など在宅から通われている方への支援も行っています。

老健局では、オリブ園に入所されている方への在

宅復帰に向けたリハと、在宅から通われる方へ生活機能の維持改善を目的とした通所リハで支援を行っています。また、通所介護にもリハ専門職を配置し生活機能の維持を目的に支援を行っています。

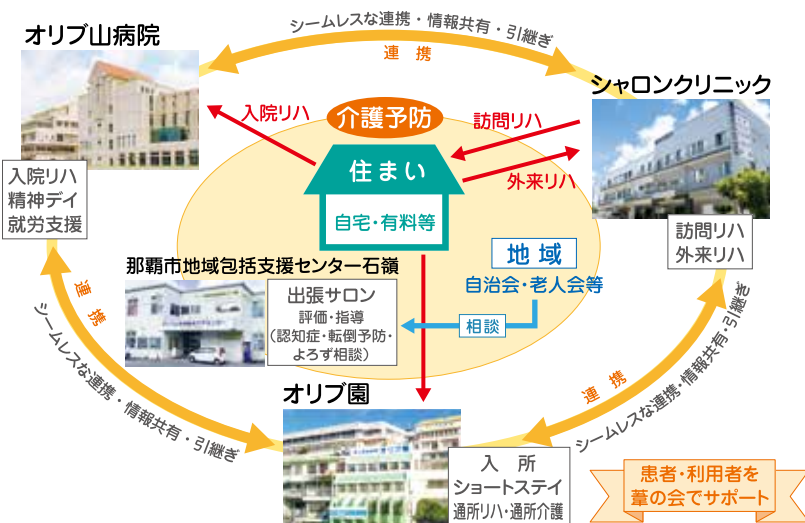
在宅支援局では、シャロンクリニックを中心に整形外科疾患の患者さんの痛みや機能障害に対する外来リハを提供しています。また、利用者さんの自宅へ出向き生活機能の維持改善を目的とした訪問リハも行っています。

それぞれの部門でリハサービスを行っています。が、患者さんや利用者さんのリハを※シームレスに提供するには、連携強化が重要と考えています。私たちは、『その人らしい 暮らしのために』を地域におけるリハ部門の目的とし、図1に示すように三つの局が連携強化を常に図り支援してまいります。

また、私たちは図2・3に記したことをリハビリテーション部門の理念・使命とし、地域のために仕えてまいりますので今後ともよろしくお願いいたします。

※シームレス：繋ぎ目のない

【図1】 葦の会 地域リハビリテーションシステム



【図2】

リハビリテーション部門の理念 (Mind)

共感と誠実、チャレンジの実践

私たちを必要としている方々へ、
いつでも自分ごととして捉え(共感)、
真摯に向き合い(誠実)、
想いを実現するために全力を尽くします(チャレンジ精神)。

「勤勉で怠らず、盡に燃え、主に仕えなさい」
ローマ人への手紙12章11節

【図3】

リハビリテーション部門の使命 (Mission)

- 地域の人々へ、
1. 高い水準のリハビリテーションサービスを提供します。
 2. 病期別に求められるリハビリテーションをシームレスに提供します。
 3. 早期のADL回復と在宅復帰を支援します。
 4. 住み慣れた地域や自宅で生活できるように支援します。



白砂の歩道を照らすフットライト群

はじめまして。オリブ山病院医師の金井希斗です。ご縁がきっかけで、2022年4月にオリブ山病院に入職しました。それ以前は群馬県の精神科病院に勤務していました。渡名喜島離島診療について原稿の依頼がありましたので、短い時間ですが、お付き合ってください。

渡名喜島へ行くにあたり、私は渡名喜島と検索し、動画をみて予習をしてはりましたが、今回の原稿依頼があり、はじめて渡名喜島のホー



第1回目の出発はヘリタクシーで

島と入砂島(いりすなしま)の2島からなっています。このことです。

あまり記憶が定かではないのですが、2023年の夏過ぎに渡名喜島への離島診療をオリブ山病院が始めるので診察医として出張しないかと仲里医師よりお声掛けいただきました。ソーシャルワーカーの立津さんをはじめスタッフが動き、あつとい

う間、1〜2か月もしなかったと思いますが、同年11月には第1回渡名喜島診療が予定されました。結論からいうと、波が高く天候不良で第1回から中止となりました。海なし県から来たものとしては「こういうものなんだなあ」と深く頷きました。さらに、シン・第1回渡名喜島診療が12月22・23日に予定されましたが、予報では波が高く、行きのフェリーは欠航、帰りはおそらく出るだろうとのことでした。再び結論からいうと、(荒天時は県からの補助が出る)ヘリタクシーで22日朝、那覇空港を出発し20分ほどの快適な空中遊泳を楽しみ、渡名喜島に降り立ちました。(フェリーですと約2時間で那覇港から渡名喜島へ到着します)。そこでは保健師さん、民生課課長さんに大変お世話になり、無事診療も行うことができました。

島しょ診療が始まったところまでで今回の原稿は終わってしまいましたが、「離島」という地理的特性を強く感じ、また古き良き沖縄、旧暦で暦が動いているのを体感したりしています。最後まで読んでくださってありがとうございました。



渡名喜港にて→下船後、船酔いを覚ましています



愛し、受け入れること

伝道連携室 課長 チャプレン 呉志堅 正都

ある日、男性は、自慢の庭の芝生に、タンポポが群生しているのを見つけました。実を言うと、男性は、タンポポがあまり好きではありませんでした。彼は、何とかしてタンポポを取り除こうと、あらゆる方法を試みました。しかし、ダメでした。業を煮やして、彼は、ついには行政に手紙を書きました。自分が試みたあらゆる方法を列挙し、「私は今、どうすればよいのでしょうか」と尋ねました。しばらくして返事が返ってきました。男性は、期待に胸をはずませながら手紙の封をきりました。しかし驚いたことにそこにはたった一言「タンポポを愛する事を覚えると良いでしょう」と記されているだけでした。

上記の話の中には「タンポポをありのまま受け入れる」ということが含まれています。

私たちは、イライラさせられる出来事や状況、またイライラさせられる人に遭遇することがあ

ります。できれば自分自身ではなく、状況や相手にかわってほしいと願います。また何とかがんばって自分の力で状況や相手を変えようと懸命になったりもします。しかし、多くの場合、思ったほど相手が変わってくれない現実を経験するのではないのでしょうか。逆説的になりますが、相手が変わるのは、自分がその人を受け入れ、愛するときであると言えるのかもしれない。

さて聖書には、個性豊かな人物が多く登場します。イエス・キリストの弟子達もそうでした。今の私たちと全く変わらない生身の姿です。失敗もするし、人格的にも問題だらけでした。イエス・キリストは、そんな弟子達を忍耐強く見守られ、ゆるし、受け入れられました。彼らを変えられた人生を歩むことができたのはイエス・キリストの大きな愛とゆるしを体験したからです。



レアチーサーで今夏もすっきり爽快

みなさんこんにちは。夏空がまぶしく輝くころとなりましたがいかがお過ごしでしょうか？今回ご紹介するのは、シークワサーのフレッシュな香りをそのまま表現した、フルーティーで新感覚のレアチーズケーキ「レアチーサー」です。

3日間丹精を込めて作られたケーキの断層は、見た目はもちろん、底にあるさっくりとしたクッキー部分と柔らかなムースの組み合わせの食感も楽しめます。

店内でアイ스티ーや、オリジナルドリップコーヒーとセットで召し上がりながら、Café wakimizuで夏のひとときをお過ごしただけければ幸いです。近くにお越しの際は、ぜひお立ち寄りください。暑い夏の日にぴったり



の爽やかな新作のスイーツをご用意して、スタッフ一同こころよりお待ちしております。



※オリブ山たよりをご提示いただくと「レアチーサー」を1冊につき1個(300円)、半額券(150円)で提供いたします。店内でのご利用に限ります。販売個数に限りがありますので、売り切れの際はご了承ください。

〒903-0804 那覇市首里石嶺町4-356-5 首里ビル2階 TEL : 098-886-2320
営業日: 平日11:00~14:30(ラストオーダー 14:15) / 定休日: 土・日・祝日



内科のご案内

シャロンクリニック 院長 諸見川 純

シャロンクリニックは葦の会を母体にする診療所です。これまで内科は、隔日、午前中という変則的な診療体制を取っていましたが十分ではありませんでした。石嶺地域、隣接する西原、浦添地区など、近隣の医療ニーズに対応するため、診療枠を月



スタッフのみなさん ☺

那覇市首里石嶺町4-238-2 メディカルいしみね3階 / TEL(098)884-1300 / 受付時間 8:30~16:00(土日を除く)

曜日から土曜日まで広げて、受診依頼に対して可能な限り対応を致します。他の救急医療機関、介護保険施設、老人ホームなどと連携をしながら、その責任を果たしていきます。小さな診療所ですが、血液検査、尿検査、レントゲン撮影、腹部エコー、心エコー、血液ガス、血糖、Hb A1C測定など検査設備は充実しています。CT・MRI検査が必要な際には、オリブ山病院での検査が可能です。一般診療に加え、各種健診(特定健診、長寿健診など)、診断書作成、健康相談、各種ワクチン接種(インフルエンザワクチン、肺炎球菌ワクチン、带状疱疹ワクチン、その他)、並びに栄養指導も必要に応じて行います。信頼される診療所を目指してまいりますので、ぜひお気軽にご相談を頂きたいと思ひます。どうぞ、宜しくお願い致します。



老健局

オリブ園通所リハビリの取り組み

オリブ園 通所リハビリ主任 呉志堅 博哉

初めまして、昨年4月より主任に就任しました呉志堅博哉と申します。

私たちオリブ園通所リハビリは、Re:Start(リ・スタート)=再出発・再始動「心身共に」「新たな目標」をコンセプトに医師、リハビリ、介護、看護、相談員で連携を図り、ご利用者の



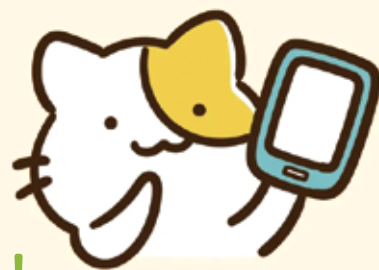
ゆかいなスタッフたち ☺

在宅生活を支えています。

その取り組みとして、契約から6か月間は毎月、6か月以降は3か月に1回、通所中のご利用者の様子やリハビリの経過報告、ご利用者・ご家族の困り事や生活課題を把握するリハビリテーションマネジメント会議を開催しています。会議には、担当ケアマネジャーさんも参加し、今後の目標設定やケアの見直しを行って、長く安心して在宅生活を継続できるように支援しています。

今後も、ご利用者が目標を持って在宅生活を送れるよう職員全員で支えていきたいと思ひます。





0570-099-784(代表)

医療相談科

- ・初めて受診される方
- ・入院のご相談
- ・相談員宛

1

外 来

- ・症状やお薬について
- ・疑義照会

2

医事課

- ・予約のご確認
- ・入院費について
- ・自立支援のお手続き

3

総務課

- ・その他のお問合せ

4

電話の混雑緩和のため、ナビダイヤルの運用を開始いたします。音声ガイダンスに従って番号をお選びください。

*ご案内の途中でも番号入力することができます。 *該当の部署につながるまで電話料金は発生しません

整 形 外 科 火曜 診療開始！！
内科/リハビリテーション科 土曜

アマクマヤミ(あちこち痛い)は
『しょうがない』とあきらめずに、
リハビリで身軽に！！

整形外科を担当する栗國敦男です。

前任の県立病院では35年、特に小児から高齢者まで 整形外科を担当
していました！ 変形性膝関節症、腰痛症、ヘルニア、脊柱管狭窄症、
五十肩など運動器を専門としております。いつでも相談に応じます
ので、どうぞよろしくお願いいたします。



シャロンクリニック整形外科医
栗國敦男

受付時間	New!						New!
	月	火	水	木	金	土	
8:30-11:30	★	●	●	◎	●	★	
13:30-16:00	—	●	●	◎	●	—	

※ ★印は、内科とリハビリテーション科のみ診療。◎印の整形外科については、第3木曜のみ休診。

